



京信の
本業支援

STRAWBERRY
GARDEN PROJECT
いちごの庭プロジェクト



あべのハルカス近鉄本店で 移動式いちご狩りが誕生するまで

久御山支店お取引先株式会社おさぜん農園様は、京都府八幡市でいちご狩りを主とした観光農園として順調に事業を営まれていた。しかしコロナ禍で客足が減少し、通常では予約が取れないほど人気のいちご狩り体験でさえも、厳しい状況が続いた。社長の長村様はそんな状況を何とか打破しようと、一般的な農園でのいちご狩りではなく、移動式のいちご狩りを考案。その相談を受けた京信の川上と永田、大谷が社長の想いを実現させ、見事あべのハルカス近鉄本店で“移動式いちご狩り”を誕生させたストーリー。



たくさん摘めて
楽しかった♪

京信の 本業支援

STRAWBERRY GARDEN PROJECT いちごの庭プロジェクト



こんなところでいちご狩り?!

2020年8月、久御山支店営業担当の川上は、お取引先である株式会社おさぜん農園様のもとを訪問していた。「こんなところでいちご狩り?!」と意外な場所



所でいちご狩りを展開する“移動式いちご狩り”について話合っていたのだ。

前を向いておられる社長を応援したい

「大盛況だった時期からコロナ禍まで、いつも前を向いて頑



張っておられる長村社長の姿を間近で見えた。なんとか応援したい。」そう思った川上はプロジェクトを立ち上げ、社長の想いを形にするために動き始めた。

いちごの庭プロジェクト

こうして立ち上がった「いちごの庭プロジェクト」。メンバーは、おさぜん農園様と川上、伏見支店お取引先で中小企業のコンサルを行うシュンビン株式会社様とその担当職員の永田、そして、それぞれの支店長(久御山・伏見)。さらに、本部から支店の営業担当者をバックアップする企業成長推進部の大谷。おさぜん農園様の想いに共感し集まったメンバーは、農園の魅力と移動式いちご狩りの実現可能性について話し合った。

プロジェクトメンバーの中心となった
伏見支店の永田
企業成長推進部の大谷
久御山支店の川上



出店先を探して…

メンバーは何度も話し合いを重ね、京都府内のレジャー施設等に



出店依頼のプレゼンを行った。お客様2社に加え、京信側も毎回必ず5人全員でプレゼンに臨んだ。しかしながら、移動式いちご狩りという取組は初めての試みであり過去の実績等が提示できず、施設側としても前例の無いことだったので出店を受け入れてくれるところはなかなか見つからなかった。

改善を重ねついに成約

それでも諦めることなくプレゼンの練習や価格設定、設備・備品費用の調整等のブラッシュアップを繰り返した。そして2020年12月、大谷よりあべのハルカス近鉄本店担当者にアポイントを取ることができ、再び全員でプレゼンに挑んだ。その先にあつたのは「ぜひやりましょう!」との嬉しい返事。こうしてメンバーのチームワークが実を結び、あべのハルカス近鉄本店屋上スペースにて移動式いちご狩りの実現が決まった。



現場を視察する3社のプロジェクトメンバー

初日に訪れた園児たちと挨拶を交わす長村社長





京都信用金庫のサポートはいかがでしたか

あべのハルカス近鉄本店さんと繋がるまでに何件も出店先を探し、プレゼンの細かい内容まで提案してくれました。川上さんはこのプロジェクト以前から、同業者との交流の場を設けてくださったり、いちごの肥料に関する情報提供、ビジネスマッチングなど継続的にサポートしてくださいました。川上さんは、**ずっとそばにいて欲しいと思う営業マン**です。



株式会社おさぜん農園
代表取締役 長村 善和 様



京都信用金庫
久御山支店 川上 哲典

出店先の紹介や出店依頼の交渉を行いました。また、「ついで感覚」でいちご畑に立ち寄ってくれる人を増やすための価格設定や、衛生面、設備・備品費用等の提案も行いました。**いちごを摘む子供たちの笑顔を見た時、このプロジェクトに関わって本当に良かったと思いました。**コロナ禍で、今までになかった変化が急速に起きていますが、そんな時代をお客様と一緒に笑顔で乗り越えていきたいです。

このプロジェクトに関する感想を教えてください

当社はお客様のパートナーとなり、企業のブランディングやあらゆる課題解決に注力しています。あべのハルカス近鉄本店の屋上スペースを見た瞬間、**いちごのビニールハウスが建つ風景が思い浮かび、「ここだ!」**と思いました。おさぜん農園様の魅力が最大限に伝わるプレゼン内容を考案し、このプロジェクトが実現できたことを嬉しく思います。



シュンビン株式会社
代表取締役 津村 元英 様



京都信用金庫
伏見支店 永田 耕太郎

おさぜん農園様の力になりたいとの津村社長の想いや、移動式いちご狩りという今までにない面白い取組に共感し、伏見支店としても何か力になれないかと思い、プロジェクト企画のイメージに合う施設を紹介しました。多くの人の喜びや楽しみの創出に携わることができ、感謝しています。このプロジェクトは8月に動き出し、わずか4ヶ月で出店先の決定に至りました。これからも**お客様に寄り添い、チーム力を結集しスピード感を持って行動するよう心がけてまいります。**

DESIGN WEEK KYOTO 2021 が開催されました!

京都のモノづくりの現場をオープンにし、国内外から訪れる様々な人との交流を促進することで、京都をクリエイティブな街にしていく「DESIGN WEEK KYOTO (DWK)」。「今の厳しい状況だからこそ、交流を止めてはいけない。様々なモノづくりの現場・人・文化と出会い、共に前へ向かっていこう。」との想いで今年度はリアルとオンラインで開催しました。当金庫職員はDWK運営スタッフの方々と共に交流のサポートを行い、職人さんのモノづくりの工程や工場内をオンラインで案内しました。

主催:一般社団法人Design Week Kyoto実行委員会

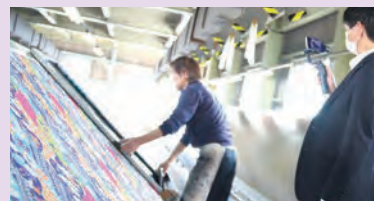
実施内容を
一部ご紹介!



TAKENOKO(横山竹材店) 様
国内外の有名建築物の竹材インテリアにも携わる職人による「エビかご」の制作体験



南條工房 様
独自の伝統的な焼型鑄造で鳴物神仏具などを手作りする工房



亀田富染工場 バゴン本店 様
自社ブランド「Pagong」の生地を友禅職人が手染めする工程

新たな風が、未来を変える

第8回 京信・地域の起業家アワード



当金庫は、地域の活性化に貢献している起業家を顕彰する「京信・地域の起業家アワード」を2013年から毎年開催しています。3月24日、第8回を迎えた今回は、10名の優秀賞受賞者によるプレゼンテーションが行われ、審査員による審査とオンライン視聴の皆様のご投票により最優秀賞が決定しました！



最優秀賞

株式会社Casie

アートの民主化で、日常にアートを

作品や画家の知名度にかかわらず、一点物の絵画を定額制でレンタルできるサービスを運営。季節や気分に合わせて作品を交換して自宅に飾れる。作品とともに届く冊子では、絵画の見方や飾り方のノウハウ等アートの知識を学べる。また、レンタルによる売上の一部がアーティストに還元されるため、アーティストへの経済的な支援にもつながる。



ネットで注文！

数千点の作品の中から
気に入った作品をレンタル！



代表取締役CEO
藤本 翔 様

Interview

創業のきっかけは、亡き父が画家だったことです。父は、創作活動にエネルギーを注ぐあまり、作品の販売や発表の場を得ることに苦労していました。そんな父の姿を見て「**機会に恵まれないアーティストを応援したい**」という想いを抱き、この事業を始めました。「**全ての家庭に1つのアート作品が飾られているのが普通になる。**」そんな世の中を目指しています。

Casieは、ここ京都から全国、世界へ広がっていくアートのメガベンチャーを必ず実現します。期待と応援を込めて、見守っていただけると幸いです。

受賞のポイント

Casie様の事業は、社会課題でもある「アーティストの創作発表の場・機会の減少」を解決するだけでなく、**未来のファンと「共感」で結びつく新たな仕組みも提供**しており、またそれらは**文化芸術の持続可能性にもつながる事業**であることが受賞の決め手となりました。当金庫はこれからも「創りたい世界の実現に向けて走っていく…」そんな起業家のみなさんを全力で応援します。



京都信用金庫
企業成長推進部
田村 健



Cスクエアバックナンバーはこちらからお読みいただけます！
[Click!](#)